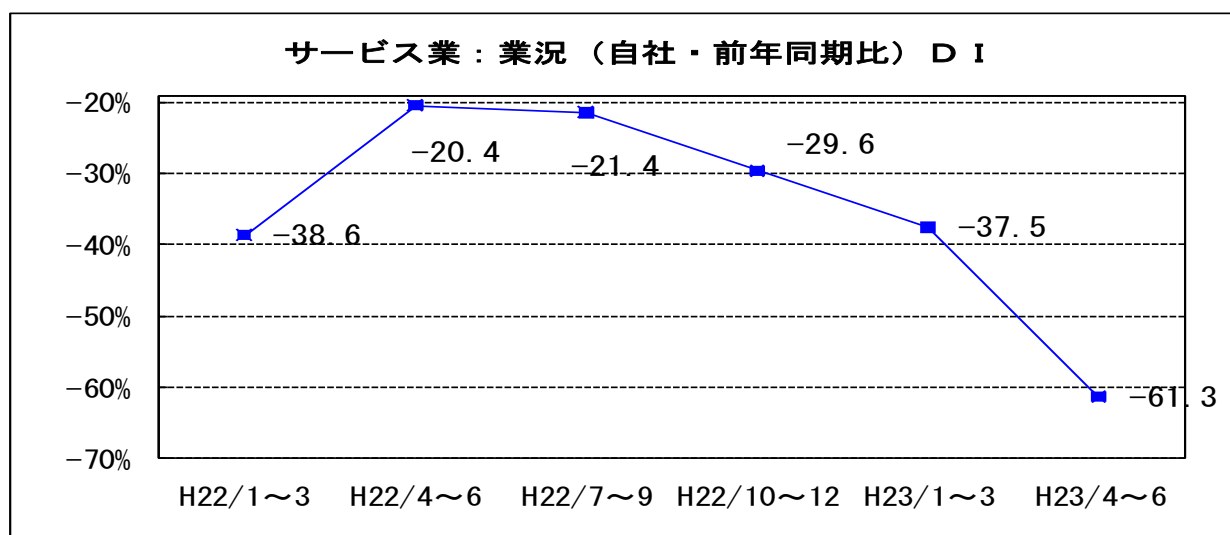


## 5. サービス業の動向

### (1) 業況概要（前年同期比）

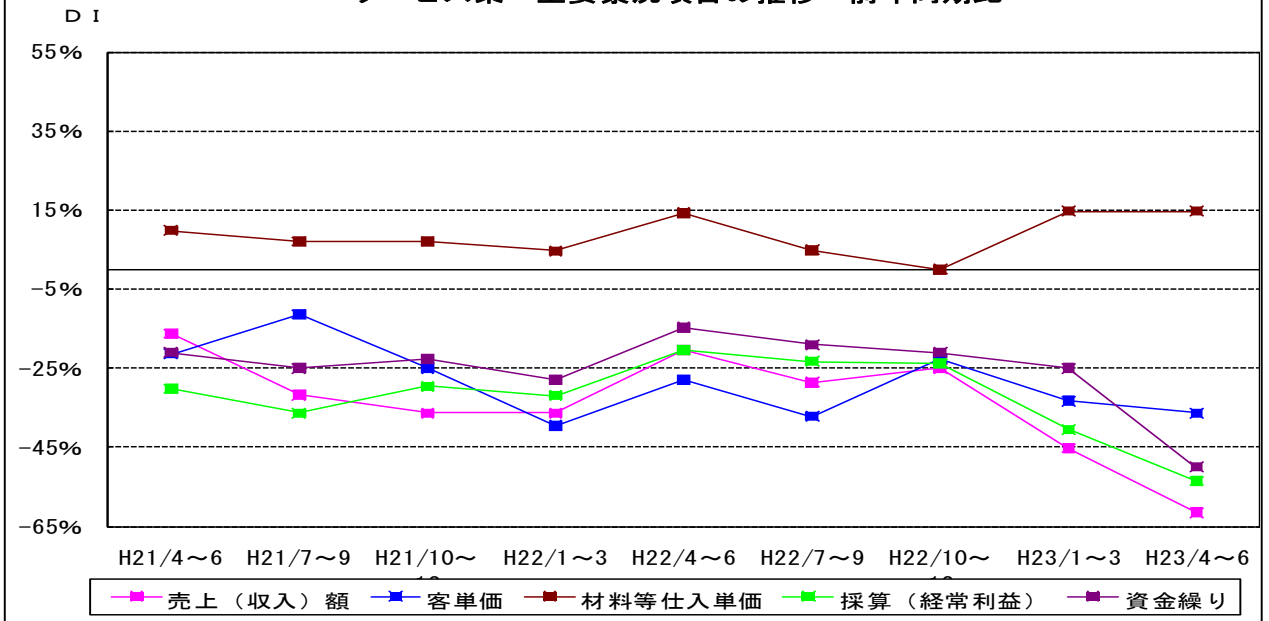
今期の業況DI値は、マイナス61.3。前期マイナス37.5から23.8ポイント下降、大幅に悪化。来期見通しはマイナス54.7と回復の見込み。



### サービス業の主要景況項目 DI 値の推移（前年同期比・%）

	前々期 (22年10月~12月)	前期(A) (23年1月~3月)	今期(B) (23年4月~6月)	今期と前期の差 (B) - (A)	来期 見通し
売上（収入）額	▲25.0	▲45.2	▲61.5	▲16.3	▲59.0
客単価	▲22.7	▲33.3	▲36.4	▲3.1	▲34.1
材料等仕入単価	0.0	▲14.7	14.7	29.4	4.9
採算（経常利益）	▲23.8	▲40.5	▲53.5	▲13.0	▲49.9
資金繰り	▲21.0	▲25.0	▲50.0	▲25	▲43.2

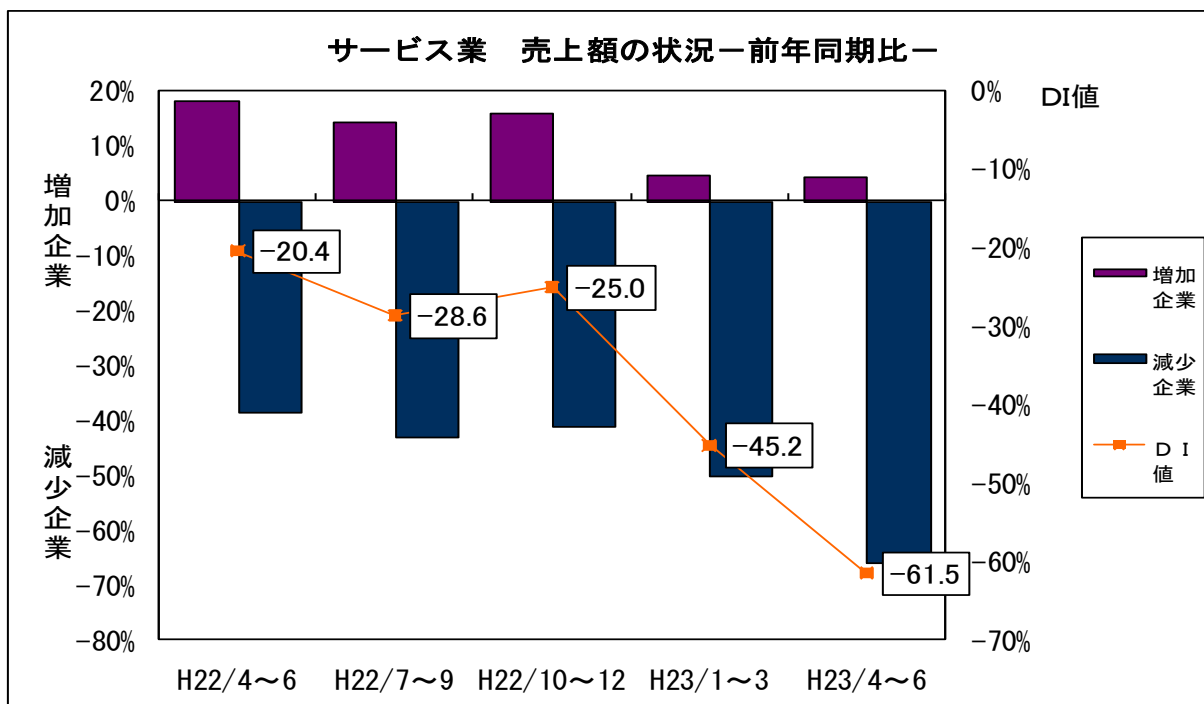
### サービス業 主要景況項目の推移—前年同期比—



(2) 主要項目の概況

①売上（収入）額（前年同期比）

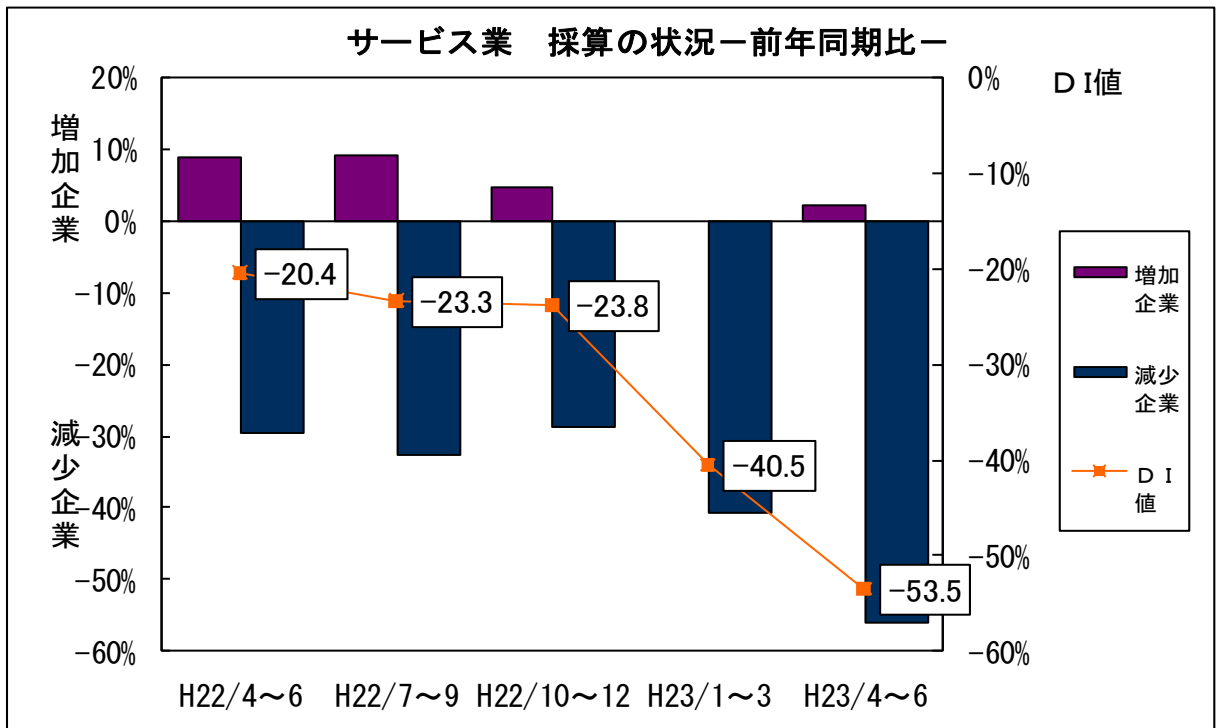
今期の売上（収入）額D I 値は、マイナス 61.5。前期のマイナス 45.2 から 16.3 ポイントの下落、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス 59.0 とほぼ横ばいの見込み。



②採算（前年同期比）

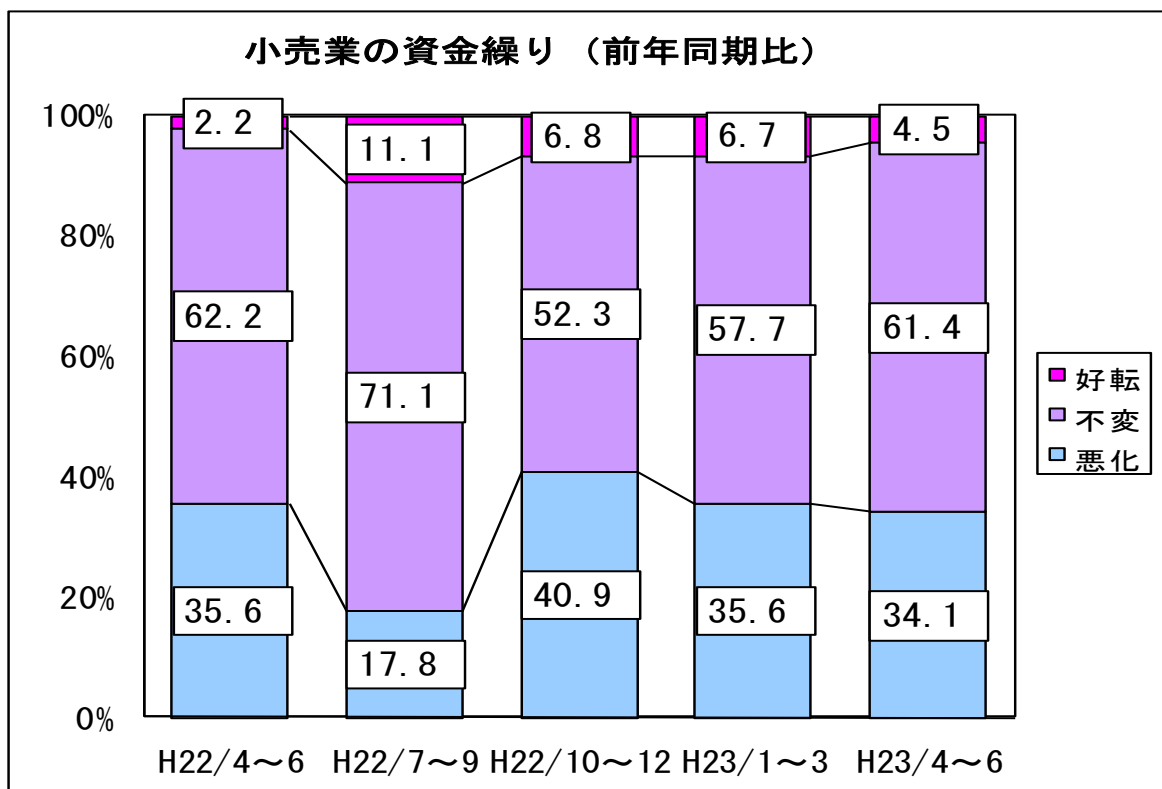
今期の採算D I 値は、マイナス 53.5。前期のマイナス 40.5 から 13 ポイント下降、大幅に悪化。来期見通しは、マイナス 49.9 とほぼ横ばいの見込み。

### サービス業 採算の状況—前年同期比—



③資金繰り（前年同期比）

今期の資金繰りD I値は、マイナス 50.0。前期のマイナス 25.0 から 25.0 ポイント下降、大幅に悪化。来期見通しはマイナス 43.2 と回復の見込み。

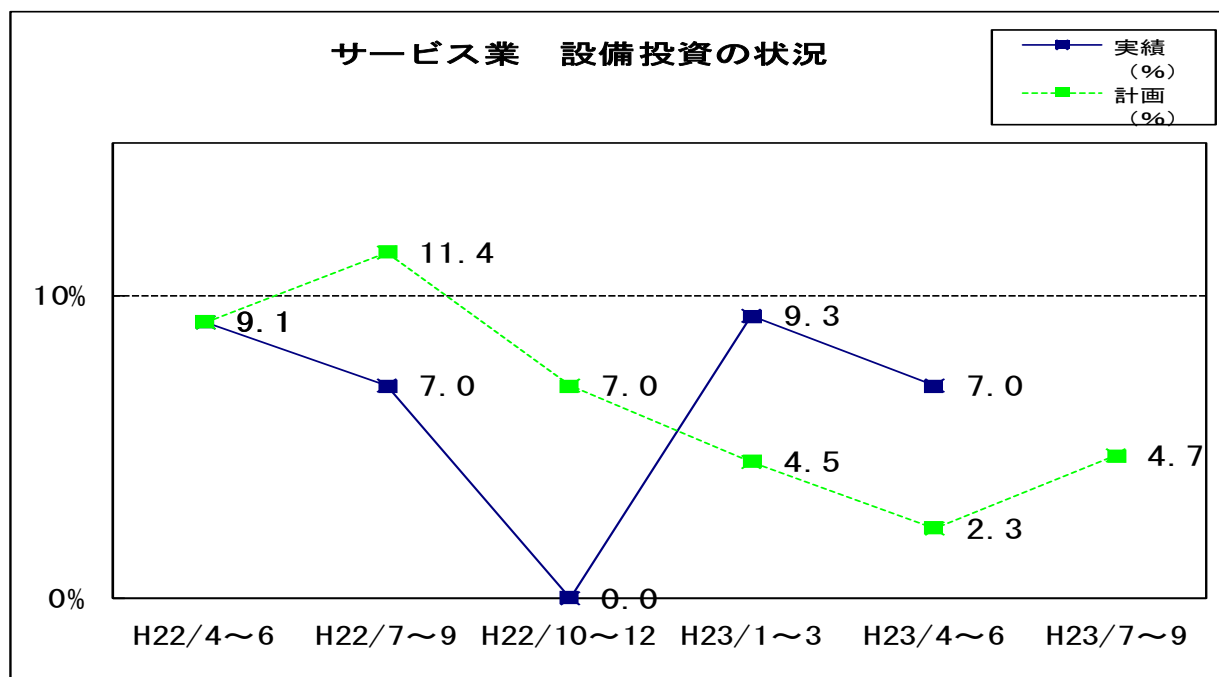


#### ④設備投資

##### 新規設備投資の状況

	あり	投資内容								なし
		土地	建物	サービス	車両・運搬具	付帯施設	OA機器	福利厚生施設	その他	
前期実施 (実数)	4	0	1	0	2	1	0	0	0	39
(%)	9.3	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	90.7
今期実施 (実数)	3	0	0	1	0	0	0	0	2	40
(%)	7.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	93.0
来期計画 (実数)	2	0	1	0	1	1	0	0	0	41
(%)	4.7	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	95.3

今期設備投資を実施した企業は3社(7.0%)。前期(平成23年1~3月期)の実施企業4社より1社減少。来期は2社(4.7%)が建物、車両・運搬具、付帯施設への投資を計画している。



### ⑤経営上の問題点

今期、サービス業が経営上の問題点として一位から三位にあげる項目は、

- ・ 「需要の停滞」 (前期 75.0%→今期 61.1%)
- ・ 「利用者ニーズの変化」 (前期 43.7%→今期 38.9%)
- ・ 「材料等仕入単価の上昇」 (前期 36.4%→今期 33.3%)

となっている。

